

フィンランド月間～教育と文化を探る

主催：地域交流研究センター

最近ではフィンランドを舞台にした日本映画「かもめ食堂」が話題となり、フィンランドのデザイン、ファッションも高い評価を得ています。そして一番注目したいことは「フィンランドの教育について」で、都留文科大学の複数の教員が実際に当地を訪れ、研究の成果も発表しています。

そこで本学では今年10月を「フィンランド月間」と題し、フィンランドの教育とその背景にある歴史、文化を紹介する講座を開催いたします。

対象 一般市民、教員、学生など、どなたでも聴講いただけます。

受講料 無料

申込・問合せ 〒402-8555 都留市田原三丁目8番1号 都留文科大学 企画広報担当 ☎(43)4341(代)

※大学ホームページからお申し込みできますのでご利用ください。 URL <http://www.tsuru.ac.jp>

第1回 叙事詩「カレワラ」の世界

講師 鳥居明雄(比較文化学科教授)

日時 10月7日(土) 午後1時30分～3時30分

場所 2号館101講義室

フィンランドに伝わる叙事詩『カレワラ』は国民的叙事詩としてフィンランドにおいて圧倒的な支持を受けています。その内容は英雄冒険物語としての民族叙事詩になっていて、複雑な歴史的背景をうかがわせるものであり、たいへん興味深いものがあります。

フィンランドの国家的なアイデンティティを支える叙事詩として、どのような特質や価値があるのか、歴史的、宗教的、民族的な背景を織りまぜながら解きほぐし、なお、我が国の神話世界などとの比較も加えながら考えてみたいと思います。

第2回 フィンランドの自然と歴史

講師 高田理孝(初等教育学科教授)

日時 10月14日(土) 午後1時30分～3時30分

場所 2号館101講義室

フィンランドは北欧の人口約520万人の小国です。我々が抱くイメージとしては、森と湖の国、ムーミンの故郷といったものが一般的なところでしょう。

しかし、馴染みがないが故に1918年ロシアから独立した後、隣国の旧ソ連とは、1939～1949年の冬戦争・1941～1944年の継続戦争と、国家の主権と独立をかけた熾烈な戦いを行ったことを知らない日本人がほとんどではないでしょうか。国家規模では比較にならない小国の物静かな人々が、何故大国の理不尽な要求を敢然と退け、戦うことになったのか、その自然と歴史から考えてみたいと思います。

第3回 シンポジウム

「フィンランドの教育・日本の教育」

日時 10月18日(水) 午後6時30分～8時30分

場所 2号館101講義室

パネリスト 田中孝彦(初等教育学科教授)

福田誠治(比較文化学科教授)

森 博俊(初等教育学科教授)

「3人の研究者と参会者として教育について考えるシンポジウム。教育において世界に高く評価されるフィンランドの現況を紹介し、私たちが目指すべき方向を探ります。教育に携わる方々、教員を目指す学生はもちろん、一般市民の皆さんにもぜひご参会いただきたい「フィンランド月間」のメイン講座です。

第4回 フィンランドのデザイン～

一途デザインプレーヤーとしてのイーッタラ社

日時 10月21日(土) 午後1時30分～3時30分

場所 2号館101講義室

講師 サトゥー＝マリア・アホ(イーッタラ社エクスポートマネージャー)

協力 フィンランドセンター

フィンランドを代表するイーッタラ社のガラスデザインは、モダンなスカンジナビアデザインを基調にそのコンセプトは日常に手に取りやすく、機能性と永続性あるデザインに表れています。イーッタラ社の多くの有名デザイナーのなかには、タピオ・ヴェルッカラやカイ・フランクがおり、現在では三宅一生と共同制作をするハッリ・コスキネンら有能な若手デザイナーも活躍しています。

そのフィンランドのデザインをリードするイーッタラ社をはじめとしたフィンランドのデザインの歴史、今後のデザインの動向について解説します。

第5回 「透明な大気と水が育んだ音楽－J.シベリウスを中心に」

日時 10月28日(土) 午後1時30分～3時30分

場所 音楽棟Mホール

講師 清水雅彦(初等教育学科教授)、ヴァイオリン演奏とお話：佐藤まどか

フィンランド国民の主体をなすフィン人はアジア系の民族と言われ、そこには特異な楽器で演奏される民族音楽や、民族叙事詩「カレワラ」を素材にしたものなど、美しい自然と悠久の歴史の中で育まれてきた音楽が流れています。

また、交響詩「フィンランディア」の作曲者であるJ.シベリウス(1865～1957)は、強国スウェーデンから独立を勝ち得るその時に国民意識を高揚させたことでも有名です。この講座では前半は映像や録音から、後半はゲストにヴァイオリニストの佐藤まどか氏(日本シベリウス協会理事)をお招きし、演奏とお話を伺いながら展開していきます。

音楽は言葉を越えた国際語、あなたもフィンランドに思いを馳せてみませんか。